

狂犬、墜つ。



取調室

…だからあ！

ドニッ

うちは銃を
見せただけで

向こうが勝手に
金をくれたんだよ

絶対に
無罪だろ！

…って

お前の言い分は
理解…した…

それじゃあ…

フー…

…カッアゲ
恐喝罪で逮捕だ

やっぱダメかっ…

連れて…行けっ…

はあ

聞いてんのか!?

局長
狂犬さんよお！

ヴァルキューレ警察学校
公安局 局長
尾刃カンナ

…っ

フー…

フー…

フー…

フー…

フー…



昨日も一晩中…

そうだ…

…よう…

…局…



あの屈辱に比べれば…

次の予定ですが…

局長



何も問題ない…



局長…!?

まさか…っ♡

大丈夫かな
尾刃くん?

あなたは…っ



あの男に…

局長!!

ほー…

…すまない

どこか
お加減でも…

いや、大丈夫

カチッ



かんさつかん
監察官！

きっと疲れが
出たんだろう

どの口が言う…

いえ…

結構…

私の執務室^{部屋}で
休んでいきなさい

局長っ！

ほら、無理は
いけないよ

私が彼女を
連れていくから

君は業務に
戻りなさい

それじゃあ
行こうか…♡

さっさと…

了解しました

局長、
お大事に…

ハ…ハ…

ハ…ハ…

ハ…ハ…

執務室

驚いたぜ

まさか我が校に

こんな変態が
居たとはなあ…

真つ昼間から
オモチャ挿れて

コソコソ
濡らしていると
思ったら

今度は仕事サボって
ち●ぽ漁りと
来たもんだ(笑)

先生はナニを
教えているんだか…

お前も
そう思うだろ？

尾刃局長(笑)

…おいおい

そんなに
睨むなって

ギロツ!!

たゆん

やぶん

んん

んん

んん

んん

ちゅ

ちゅ

んん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん

ぎゅん



あつ！♡

やめっ……！♡

怖くなって

先生にモモトーク
したくなっちゃうだろ？

…ッ！！

オラッ！

少しは
やる気出たか？

お前に
選択肢なんて

ああ！♡

ハナから
無えんだよ

分かったら
舌出せ

感謝しながら
中年スペルマ
受け入れろ…っ

あゝ！！



狂・犬・ちゃん♡

次からは
俺が言う前に
啜えろよな

傲慢で独善的な
サディスト

それが
この男の本性だ…

精子一匹残さず
飲み干せよ

コグンッ

コグッ

とろみ…

一ヶ月前

連邦生徒会が
この男を招聘した

ヴァルキューレ
私たちの上層部と
民間軍事企業の癒着を
重く見たためである

すると
着任から間もなくして
不正と腐敗は
徹底的に排除された

その手腕に
感銘を受けた私は
個人的に教えを
請うようになった

その頃の私は
この男を完全に
信用しきっていた

私の分まで…
恐縮です

いいんだよ
私の趣味だから

それでは…
いただきます

それは――

身近にいる大人が
「先生」だけだったから
なのかもしれない

…そこに油断があった

ミャラッ

私は朦朧と
したまま

…あっけなく
純潔を失った

仮眠用の
粗末なベッドの上で

使用中

少しの抵抗も
出来ずに

これ位の
役得でも無きや

誰がガキたちの
面倒なんて
見るかよ

おらイケっ

わけも分からず
初アクメしろっ

おらっ

もっと舌出せ

んんん

もう子宮
下りてきたぞ？

少しは我慢しろよ
雑魚ま●こが

ちゅっ

ちゅっ

んんん

ちゅっ

ちゅっ

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

0.01

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん



浮気ち●ぽで
トんじまえ…ッ

すっげえ絞り…

ゴムごと
ちぎられそうだぜッ

ブュッ
ブルッ
ブルッ

うっ…ふっ…

こんなの…
またサれたら…♡

ま●こが全然
物足りないって
言ってるぞ

俺もだけどな

や…め…

はー…

はー…



キツオトス
生徒のま●こ
ヤバすぎんだろ…♡

その晩、私に休息が
訪れることは
ついに無かった…





まあ
しばらくはお前で
我慢してやるよ

バカ綺麗に
撮れてんじゃん

初セックスで
クソ漏らすとか
才能有りすぎだろ

後輩にも
手を出さないで
おいてやる

精々頑張って
その弱々ま●こで

俺を楽しませて
くれよ...♥



思い知らせてやろう...

噛みつく相手を
間違えたことを

流されるのは
今日までだ...

楽しみに
しておけよ♥

だが...

おい
明日から
少し本気出すからな

...こうして私は
この男の奴隷になった



おらっ
もっと気合入れて
応援しろよ

フーッ

フーッ

フーッ

フーッ

フーッ

フーッ

フーッ

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

思い...知らせて...っ

応援団コスで
やりたかったんだよなあ



舌も喉もち●ぼの
為にあるんだぞ

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

いつまで
しゃぶってんだよ

もう弾切れ
だっつーの(笑)

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ



黙ってイケっ

んっ
んっ
んっ

うるせえなあ
この時間は
誰も来ねえよ

だっ
誰か来っ...

ドン
ドン
ドン

ドン
ドン
ドン



見失ったか?

くそ、局長が
居てくれたら...

変態が出たぞっ!
捕まえろ!

雌オ

FREE SEX
100
1回

たやん

たやん

ドン
ドン
ドン

ドン
ドン
ドン

ドン
ドン
ドン

ドン
ドン
ドン



カンナのことを
信じているからね

先生の前で

クソ穴ほじられる
気分はどうだ？

恩師に盛ってまで
サカリたいなんて

とんだ
淫乱生徒だな♥

違う…

認めちまえよ

尾刃カンナは

浮気ち●ぽで
濡らす変態だって

違う…っ

優しくされるより

力付くで
ねじ込まれるのが
大好きな…

ちが…う…っ



マゾ犬だってなっ!

ハバツ

おほおっ

あーあー

先生が
ま●汁まみれ
びしょ濡れだぞ(笑)

…って
聞こえてねえな

このまま
続けられたら…

バズン

ブルブル

私は…

よっと…

びん

っ!?

やっぱ「生徒」と
するのは
良くないだろ…

これで終わりに
しようぜ?

そんな…

そう…ですか…

フー…

キュン

ただし…

ニヤ…

キュン

フー…



中年の
臭いツバ♥



お前ほんと
好きだよな



お前のせいで
暴発寸前だぜ

こんな格好…♥

ああ、すっげえ
ち●ぽ女…
脳みそまで
ま●こなのが
モロバレだぞ



今夜は
ゴムなしで

一滴残さず
注いでやるからな

覚悟しろよ

……はっ…♥



んっ
んっ
んっ





お前らは
ま●こでしか
憶えないからな

おち●ぽ様に
感謝して

一突き一突き
味わえよ…っ

俺が指導して
やってるんだ



おらっ
腰振れっ！

精子
上がってきたぞっ

イケっ！

生ち●ぽで
イケっ！！

来る…来るっ…♡







本当に
おかしいよね

仕事をサボりがち
だって聞いてさ

カンナが最近

実は...



あっ
久しぶりだね
カンナ

1ヶ月後



哀れすぎて
笑い止まんねえよ



その自信
どこから来てんだ?



まあ
その真面目な
カンナちゃんは

ひくっ...

あー

くっ

くっ

くっ

くっ



まさか

真面目な
カンナに限って
そんなこと

グッ

...

電波が
悪いのかな...?



『本当に
おかしいよね』

だつと(笑)



先生



先生…
お許しください…

先生…

んっ

ハアレ

ハアレ

ハアレ

ハアレ

三日連続
バックレからの
全力チン媚び中
だけどな(笑)

REC
00:12:06:57

あっ

今日もこれから…

カンナの
欲しがりお●んこ

ご主人様に
虐めてもらいます…♡

ハアレ

ハアレ

ハアレ

ハアレ

ハアレ

ハアレ



私はもう…
生徒ではなく…

はー

はー

また漏らすところ
撮ってやるからな

っ♡

はー



ただの…雌犬なのです…♡

終わり

～あとがき～

こんにちは、最小です。
私の本を手にとっていただきありがとうございます。

今回こそはと早めに動いたはずなんですが、
蓋を開けたらいつもより少し緩い程度の突貫作業でした。

竿役の絵を使い回しているのも締切に間に合わせる為です。
手抜きで申し訳ありません…。

次回の本は未定ですが、またどこかでお会いできたら嬉しいです。

発行日：2026年8月15日(コミックマーケット108)
発行者：最小
サークル：スジコライス
SNS：@sujiko_2nd (X)
 : @saishow (Misskey)
連絡先：anarchicfrequency@gmail.com
印刷所：株式会社ホープツーワン

- ・この本は成年向けです。18歳未満の方の閲覧は固くお断りいたします。
- ・無断転載・複製・複写・Web上への掲載は禁止します。

